



怒りや悔しさをバネに新たな職場でたたかうぞ！ ジョブローテーション座談会開催！



2日間で【運車編】
80名参加！



11月11日・12日の2日間、ジョブローテーション施策で運車職場へ異動した仲間を対象に「ジョブローテーション座談会」を開催しました。異動前と異動先での問題点や不安や悩み、安全面や教育面など、様々な視点から活発な意見が出されました。

○会社からの懸念内容や対応に

「誰もが理解・納得はできない!!」

- ・「新幹線を譲れ！」
- ・「車掌への異動だけれど、まだ若いから運転士になれるよ！」
- ・「ジョブローテーションは、自ら描くキャリアビジョンであるが、書かせるだけでフォローが無い」
- ・「異動に納得できなければ簡易苦情処理を提出してください」

○輸送サービス労組で良かったと

改めて実感！

- ・「異動した先で輸送サービス労組の仲間が温かく迎えてくれたことは、輸送サービス労組の組織に入っていて良かったと改めて実感した」
- ・「1人だと不安で耐えられなかったが、仲間を支えられて安心感が得られた」
- ・「異動は悔しかったけれど、送り出してくれた仲間にも助けられているので、組織のありがたさを痛感している」

○異動ありきの会社の対応に怒り！

- ・「異動前なのに、異動先から『通勤経路などを教えてください』と言われた」

○教育体制に不安あり！

不安を解消するため

声をあげていくことを参加者で確認！

- ・「指導担当が庫への行き方を指導できない」
- ・「線見が少ない。異動の度に減らされている」
- ・「線見で出来なかった不安箇所は、シュミレーターで補講するなど実情に合っていない」
- ・「今の指導担当は、新人やジョブ、乗務に追われ余裕がない」

東京地本は、乗務員の特殊性・専門性、人間性までも否定され、安全性が低下するジョブローテーション施策は今後も中止・見直しを求めています。
12月には、営業職場へ異動した仲間を対象に座談会を開催します。